

(様式1)

ながのまちづくり活動公開審査申込書

申込年月日	平成 25 年 2 月 4 日	受付番号	24
活動部門・コース	1 企画・研究部門	2 実践活動部門	① ホップコース(スタート枠) ② ホップコース ③ ステップコース ④ ジャンプコース
団体の名称	(フリガナ)ヨシダスポーツエデュケーションクラブ 吉田 Sports Education Club		
団体の所在地			
代表者	(フリガナ)カツヤマ ナオキ 氏名 勝山 直亮		
連絡先 (連絡責任者)			
団体の設立年月日	平成 25 年 1 月 23 日		
団体の 設立目的	①スポーツの楽しさを知り、好きになり、夢中・熱中し、吸収しやすいベースを作った上で効率的な人間形成教育を図る。 (現在、子ども達のスポーツ環境の中では、スポーツの上手い人が偉い、スポーツの上手くない人は立場がない。といった現状を目にすることがある。人それぞれ役割があり、人の長所を見付け、人を尊重することを教育する。) ②地域の子ども達のスポーツ環境を向上させること。 ③子ども達が長野にいながら、夢を叶えられる環境を創る。(現在、スポーツで夢を持つ子どもは、中学年代、高校年代で県外に出る現状が非常に多い。)		

<p>団体の 活動実績</p>	<p>なし。 平成 25 年 4 月から活動予定</p>
<p>構成員（会員）数</p>	<p>10 人</p>
<p>応募する 活動のタイトル</p>	<p>スポーツを通じた人間形成教育</p>
<p>応募する活動の 目的及び達成目標</p>	<p>現在の地域や社会の問題・課題と応募する活動の目的 子どものスポーツ現場の中で、上手い下手で人を判断する傾向があり、上手ければ偉い、下手だと発言できない等々... 試合に勝って自分のおかげと周りに感謝することを知らない、自分(我が子)が活躍することが 1 番になっている親・子がいる、上手いかないことを環境や人のせいにして言い訳してしまう、環境や相手によって力を抜いてしまう(人や環境をナメてしまう)、といった状況を目にすることが多々あります。 <u>この状況を、子ども達の物心が付く最初の段階に基準を正しく設定し人間形成教育を図る。スポーツの楽しさを知り、好きになり、夢中になり、熱中した吸収しやすい状態を作り、人間形成教育をする。</u></p> <p>応募年度の達成目標 クラブのベース作り。定期的で永続的な活動の確保。(会場・活動・生徒・用具・人員) 初年度目標会員 60 名 クラブの存在をたくさんの人に知ってもらおう。 子ども達がスポーツの楽しさを知り、スポーツを好きになってもらう。 活動を通して保護者にも目的を理解してもらおう。</p>
<p>応募する活動の 具体的内容</p>	<p>※実施項目、場所、対象者など 専門的なスポーツに入る前の、人間関係作りのためのコミュニケーション能力開発や、身体を動かす楽しさを知り、一生懸命やった分だけ大きな達成感・充実感を味わえるような活動を行います。運動神経向上のためのトレーニングも行います。 [内容]年齢に応じた、協調性を高めるための、グループで行うゲーム遊び、ボール遊び、競技等。 運動神経を高めるための、基本的な動き作りをリズム遊びなど様々な遊びを通して行います。 [実施項目] スポーツ教室 [会場]市内 4 小学校(各小学校週 1 回/合計週 4 回開催) 市内 2 幼稚園・保育園(各幼稚園・保育園週 2 回/合計集 4 回開催) 1 会場 10~30 名程度(※現在会場調整中/月・火・木 3 会場確定) [対象]市内 10 小学校区の小学生/市内幼児</p>

年 間 計 画	4月	市内4小学校、体験会開催
	5月	市内4小学校、活動開始（各週1回スポーツ教室開催）
	6月	
	7月	
	8月	社会貢献活動・課外活動・キャンプ等々開催
	9月	市内幼稚園・保育園2箇所、体験会開催
	10月	市内幼稚園・保育園2箇所、活動開始（各幼稚園・保育園週2回開催）
	11月	
	12月	合宿・クリスマスイベント等開催
	1月	
	2月	
	3月	
	活動することで期待される地域や社会への具体的な効果・成果 ※「公益性」の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の社会問題の、子ども達の外遊びの環境が減少、運動能力の低下、怪我・病気のしやすい虚弱体質な身体、等々の社会問題を解決する環境を増やすことが出来る。 ・各小学校・幼稚園・保育園で開催することで、徒歩で通える範囲内のため保護者の送迎等の都合を解消し、多くの子ども達のスポーツ環境が増やすことが出来る。 ・良い人材をたくさん育成する環境が増える。（物心が付き始める幼児・小学生年代からの人間形成育成で基準を高くすることが出来る） ・クラブの質を、内容を全国・世界基準で良いものにする事で、夢を叶えるために県外に出ていく将来有望な若者が、長野にしながら夢を目指し実現させることができる。

<p>活動を継続するための取り組み (資金面、人材等)</p> <p>※「自立性」の視点</p>	<p>近年の NPO 法人化。 会員からの会費の徴収で自立を目指し、人件費に当て、より多くの場所での活動を目指す。 活動理念に共感していただける、保護者・企業からの寄付金を募る。</p>
<p>翌年度以降の活動内容の概要</p>	<p>翌年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校・幼稚園・保育園の活動の永続安定化。 ・ 子ども、家庭とより密にタッグを組み、家庭と共に教育環境を創造していくために、活動日、活動場所を増やす。(2 年目は、土日の活動を定期的に行う) ・ 法人化に向けた準備の期間とする。 ・ スタッフを雇い、活動場所を増やす。(幼稚園・保育園・小学校、合計 6～10 箇所) <p>翌々年度</p> <p>法人化設立。 スタッフを雇い、活動場所を増やす。(幼稚園・保育園・小学校、合計 8～12 箇所)</p>
<p>事業の最終目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数多くの幼稚園・保育園・小学校・中学生・保護者から必要とされるクラブになり、必要とされる場所全てに対応できる組織形成。(必要収益・人員の安定確保) ・ 30 箇所以上の幼稚園・保育園・小学校で開催。 ・ 幼児・小学生・中学生・高校生・保護者へ向けた継続安定した活動経営。 ・ クラブを出た子ども達が、社会、世界に貢献し活躍できる人間になる。 ・ 子ども達への心身の健全育成を通して、クラブが社会に世界に貢献していくことを事業の最終目標とする。

必要経費

(単位 円)

科 目	金 額	
謝金・賃金		
旅費交通費		
消耗品費	278,000 円	
印刷製本費	160,000 円	
広告宣伝費		
通信運搬費	150,000 円	
使用料		
備品購入費		
合 計	^A 588,000 円	

自己資金

名 目	金 額	
会費		
寄附金・協賛金		
参加者負担金	120,000 円	
事業収益金		
合 計	^B 120,000 円	

<p>補 助 金 要 望 額 (C)</p>	<p>C = A - B</p> <p style="text-align: right;">468,000 円 (千円未満切り捨て)</p>
<p>※補助割合・限度額</p> <p>【企画研究部門】 Aの金額以下、ただし 10 万円以内</p> <p>【実践活動部門】 (スタート枠) A×0.8 の金額以下、ただし 50 万円以内 (ホップ) A×0.8 の金額以下、ただし 100 万円以内 (ステップ) A×0.6 の金額以下、ただし 60 万円以内 (ジャンプ) A×0.4 の金額以下、ただし 40 万円以内</p>	